

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ふむふむセンサー	ハカルプラス(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
29人	看護小規模多機能型居宅介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>下肢筋力が低下して立ち上がる時に転倒するリスクのある方や、認知症で夜間起き上がりリスクのある方の居室に機器を設置し、対応している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○機能によるスタッフの業務負担の軽減 転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、追加業務の発生を未然に防ぐことができた。 ○夜間時の訪室が必要時に限られたことによって、他業務を効率よく行えている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○モーションセンサーであれば、夜間ベッドから布団が垂れ下がった場合でも反応し訪室しなけばならなかったが、ふむふむセンサーであれば、足をついた時にセンサーが反応するため、無駄な訪室が軽減できる。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○引き続き使用し、転倒防止を図りながらセンサーが感知した時間を集約し、分析することで、利用者の行動傾向を把握し、介護サービスの質を向上させる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	起き上がりセンサー	ハカルプラス(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
29人	看護小規模多機能型居宅介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○下肢筋力が低下して立ち上がる時に転倒するリスクのある方や、認知症で夜間起き上がりリスクのある方の居室に機器を設置し、対応している。 ○下肢筋力低下している方が端座位から立ち上がり移乗する際に転倒しやすいため座面に機器を使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○機能による転倒予防効果 転倒リスクの回避、トイレ誘導、排泄介助が行えている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○機器を使用することにより、立ち上がった時にセンサーが鳴り訪室できて、今まで転倒する事が多かった利用者の転倒防止につながっている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○引き続き使用し、転倒防止を図りながらセンサーが感知した時間を集約し、分析することで、利用者の行動傾向を把握し、介護サービスの質を向上させる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	コールマット、徘徊コールⅢ	(株)テクノスジャパン

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
100人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>転倒のリスクが高い歩行不安定な利用者の居室に機器を設置し、睡眠状態やベッド上での状態変化をいち早く把握することによって状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪室巡回の効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数が20%削減)</li> <li>・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事故報告書などの追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</li> </ul> <p>○夜間の訪室が必要時に限定されることによって、利用者の行動を抑制することなく精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○ベッドから起きて歩行する間には駆けつけることができ、ヒヤリハット・事故を未然に防いでいます。</p> <p>○見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</p> <p>○夜間のスタッフが少ない時間帯、アラームが重なり優先度を決めて対応しなければいけない。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>転倒のリスクが高い利用者の対応する優先度を決めて、事故回避につなげる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	超音波・赤外線コール	(株)テクノスジャパン

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
141人	介護老人保健施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>徘徊や不眠によって転倒のリスクのある利用者様の居室に設置することにより、転倒・転落の防止や睡眠状態を把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務負担の軽減</li> <li>・去年の事故件数が一昨年より100件程度減少がみられた。特に見守りロボット導入後の転倒リスクの回避が顕著に見られた。</li> <li>・訪室回数の減少により、利用者様、介護職員の負担が軽減した。</li> </ul>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤外線コールの角度調整など設置は難しいが、効果は十分感じられる。</li> <li>・マットタイプは利用者様がマット自体を踏まずにまたいでしまうため、転倒リスクがあった。赤外線コールはその心配がなく又、利用者様の負担軽減につながっている。</li> </ul>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マットタイプから赤外線タイプへの変更を徐々に進めることにより、利用者様の不安の軽減、転倒予防につなげる。</li> <li>・マットタイプは故障が多かったが、赤外線対応は故障が少なくメンテナンスの費用面でのコスト削減を図ることができる。</li> </ul>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	徘徊お知らせセンサはるお君	竹中エンジニアリング(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	特定施設入居者生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>入居者様の車椅子、ベット等に機器を付けてもらう事により、転倒、転落するリスクを未然に防ぎ、事故のリスクを減らす事ができる。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>見守り機能により、昼夜問わず、入居者様の事故発生率が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>監視状態から解き放たれ、機器がある事により安心感が増し、他の業務も並行して行えるようになった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>センサーの付ける位置で、反応しない箇所を把握し、個人ごとに的確なセンサーの設置位置を考えていく。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	みまもりベッドセンサーシステム	リコージャパン(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
25人	小規模多機能型居宅介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ベッドから滑落するリスクの高い利用者様の居室に設置し、ベッド上での起き上がりをタブレット端末で把握、かつモニターを使用することで状態を確認し、滑落を未然に防止・察知できる。また、原因究明や検証ができ、今後の早期改善に繋がられる。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>設置(使用)を始めたばかりですが、今後居室への訪問回数が減少され、特に夜間帯の職員体制時は、他の業務との兼ね合いもあるため、カメラによる安全確認ができるので気持ち的に安心できる。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>タブレット端末で確認ができ、早期対応が出来るようになった。 見守りの効率化を図れる。 機器類の使用目的や習得にばらつきがある。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>導入数は1台なので、リスクの高い利用者様へ優先的に使用するよう見極める必要がある。また、機器類の使用目的や習得にばらつきがあるため、使用目的の再確認と機器類の操作が苦手の職員へは、個別で説明し全職員が同じレベルまで習得できるよう教育していく。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ココヘルパVP	ジーコム(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>巡回をモニターで行う事で、業務効率をあげられている。居室に据え付けた機器の活動検知機能を活用することで、徘徊や転倒する等のリスク対策として、また状態変化をモニターで把握することによって、臨機応変に対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>介護職員を時間帯によって減らすなどすることを試し安全性を確認している。利用者からは、職員がすぐ駆けつけてくれるので安心感を感じているとの声がある。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>夜勤者の不必要な巡回が減り、体力的な負担が軽減されている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>センサーを追加導入することにより、事故防止を図り、利用者様に安心して夜間を過ごしていただけるようにしていく。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	マットセンサー	竹中エンジニアリング(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>・リアルタイムに離床を認知するため遠隔目視等多機能連携型ナースコール・インカムシステムに接続し、(特にナースコール利用の拒否傾向が強く)自立行動意欲の高い排泄等要介助利用者、徘徊傾向の強い利用者のベッド横に設置する。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>・利用者の離床をリアルタイムに認知、直ちに介助等当該利用者の実情に応じた対処をすることで、転倒等事故を防止している。</p> <p>・(特に深夜)巡回・介助等で、職員ステーションでの遠隔目視等多機能連携型ナースコール・インカムシステムによる総括状況確認ができない場合における転倒等事故防止、万が一の転落時における早急な対処等に寄与している。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>・初度導入以降の期間経過により、職員の機器に対する信頼感は向上しており、批判的意見は聞かれない。逆に利用者動作傾向が掴めることで、より介護業務の合理化に寄与するものと思われるが、逆に機器に頼り過ぎることのないよう、職員意識の維持も必要。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>・更に時々の利用者ニーズに対し先手を打った介護サービスを提供できるように繋げる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ANSIEL	積水化学工業(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
54人	介護老人福祉施設 短期入所生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○歩行、立位不安定などによって転倒するリスクがある利用者及び新規入所者の居室に機器を設置し、睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターや携帯端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた(見廻りのための訪室回数が10%削減)。 ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排せつ介助のタイミングを見極めることにより、転倒時の対応や排泄業務事後の追加業務の負担軽減につながっている。 ○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。 ○導入してまだ期間が浅いことから、十分に機器を使いこなせてはいないが、見守り機器導入により見廻りのための訪室回数が減少しただけでなく、専用アプリを導入することで夜間の睡眠状態をグラフで視覚化できケアに活かせることができている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○転倒のリスクが高い方の夜間訪室回数が状況に応じてできるので利用者にとっても職員にとっても精神的な負担が減ったのではないかと。 ○センサーの誤検知等によりアラームが頻繁に鳴る、または鳴らない時があるなど利用者の臥床位置によりセンサーの検知度合いが大きく変わったり、設置状態や通信環境により左右されることがあり、マッチングできる対象者が限られる。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○センサーの誤検知等があることから、センサーの設置場所、設定を見直すことにより、誤検知による訪室回数の軽減につなげる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	aams	(株)バイオシルバー

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
9人	認知症対応型共同生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○徘徊などによって転倒リスクがある入居者の方の居室に機器を設置し、睡眠状態やベッド上の状態変化をモニターや携帯端末で把握しそれに応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の定時以外の訪室が減少し効率化を図ることができた。(定時以外の訪室が20%減少) ○状態が不安定な入居者の睡眠状態が訪室しなくても把握できるので精神的な負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○定時以外の訪室が減少したことにより夜勤者の業務負担が軽減した。 ○センサーの設定により誤作動が時折おこるのでその対応に困っている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○センサーの誤作動が時折あることから、入居者によってどの設定が最も良いのかを細かく調整し誤作動を減少させる。</p>